

平成 21 年 4 月 21 日

各 位

神奈川県横須賀市小川町 14 番地 1  
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ  
代表取締役 渡部 進  
(コード番号: 3394 東証マザーズ)  
問合わせ先 取締役アドミニストレーション部  
ディレクター 寺田 賢太郎  
TEL 046-828-1804

通信事業者向け仮想アプライアンスを独自開発、実証環境を構築のお知らせ

当社は添付の資料のとおり、通信事業者向け仮想アプライアンスを独自開発し、その実証環境を当社ラボ内に構築しましたのでお知らせします。

なお、本件による業績への影響は軽微であると見ております。

以 上

平成 21 年 4 月 21 日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

## NVC、通信事業者向け仮想アプライアンスを独自開発、実証環境を構築

### 記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ(本社:神奈川県横須賀市、代表取締役:渡部 進、以下略称:NVC、東証マザーズ:3394)は、ランニングコスト削減、データセンターの利用効率向上、グリーンデータセンター化等を実現する、ルーティング・ファイアウォール機能を有する仮想アプライアンスを独自開発、仮想化実証環境をオフィス内ラボ(東京オフィス:東京都港区港南2-4-3)に構築しました。

本実証環境の特徴は、データセンターに多数存在するアプライアンス製品機能をソフトウェアにより実現、仮想環境に集約することで、システム全体の省力化を図るものです。なお、本実証環境で使用している仮想アプライアンスは、VMware/Xen上で動作します。

従来のアプライアンスは1アプリケーションにつき1台の物理的な装置を占有していましたが、仮想化技術の信頼性の向上に伴い、1台の物理的な装置にて複数のアプリケーションを集約し、稼働させることが可能となりました。

また、今回のアプローチでは、利用するメモリ容量やハードディスク容量を最小限に小型化し、装置への仮想アプライアンスの集約度を高めることを可能としました。

実証環境では、物理装置1台につき仮想アプライアンスを20~30台集約可能とし、対費用効果を高めています。

これにより、光熱費、人件費といった固定費を削減し、その分の費用を攻めのIT投資に回すことで、投資バランスを健全で理想的なバランスにすることができます。

具体的な効果は:

- 人件費の削減
    - 移動時間・移動費用の削減
    - システム変更作業時間の削減
    - システムの安全性向上による手戻り作業の削減
  - 電力・冷却コストの削減
    - 消費電力の削減
    - 冷却費用の削減
  - 保守費用の削減
    - 共通基盤化による保有機器台数の削減
- になります。

なお NVC では今後、今回開発した仮想アプライアンスの通信事業者向け提供などを検討する予定です。

【株式会社ネットワークバリューコンポネンツについて】

ネットワークバリューコンポネンツは、ネットワーク草創期から常に最先端製品を開拓してきたネットワークインテグレータです。ネットワーク製品の提供から、開発、コンサルテーション、構築・保守まで、最先端技術と、豊富な知識・ノウハウ、斬新な企画・発想力を駆使して、あらゆるネットワークフェーズをトータルにサポートしています。

本社所在地 神奈川県横須賀市小川町 14-1  
設立 平成2年4月  
資本金 366,759,550 円  
代表者 代表取締役 渡部 進  
従業員数 91 名  
事業内容 コンピュータネットワーク関連製品の企画、開発、輸入、販売、ネットワークデザイン、構築、コンサルテーション、監視・管理  
主要仕入先 Array Networks、Aruba Networks、Fortinet、H3C Technology、Isilon Systems、Ironport Systems、Loglogic、Imperva、Xsigo System ほか  
URL <http://www.nvc.co.jp>

以 上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係者の皆さま

マーケティング担当：佐伯 TEL 03-5783-1500 E-mail [press@nvc.co.jp](mailto:press@nvc.co.jp)

投資家の皆さま

IR 担当： 寺田 TEL 046-828-1804 E-mail [ir@nvc.co.jp](mailto:ir@nvc.co.jp)